

教育目標

- ・進んで学習する子
- ・思いやりのある子
- ・からだを大切にする子



学校だより

HP アドレス www.sumida.ed.jp/ichiterajimasho/

墨田区立第一寺島小学校

墨田区東向島 1-16-2

電話 (3614) 0103

令和2年 5月11日

←随時更新中！QRコードでも確認できます↑



「主体的」に発想するチャンス

校長 森村 聡彦

新型コロナウイルス感染症対策として緊急事態宣言が発令されたまま、残念ながら一斉休校措置が延長されることとなりました。

学校の教職員は3月初旬から、授業の再開や給食の開始に向けて準備を進めてきました。新しい年度を迎え、児童とは始業式と入学式で1日だけ、それも短時間会ったきりで休校に入りました。これまで何度も、目指していた再開予定の日が近付くとさらに休校延長となり、先生方はまた一から準備計画の立て直しをしました。給食の準備をする栄養士さんも、食材の発注のキャンセルと、新たな献立の組み直しをして再発注を納入業者さんにかけています。先の見通しが立たないので、学校行事の準備も長期的な計画は仮のものとして、間近に迫ったものに対処していく毎日です。そのため、不確実なことが多すぎて1つの方法に決定できません。必ず予備案をいくつも立てておく必要があります。教職員は、前例を踏襲して既定路線を進むのではなく、一人一人が考えて主体的かつ自主的に判断して行動する必要に迫られるようになりました。

さて、家庭学習を進めている児童の皆さんはどう過ごしていますか。新学習指導要領の理念の1つ「主体的・対話的で深い学び」の「主体的」とは、「今、何が必要なのか、どのような行動をすべきなのか、自分で考え、判断し、行動し、責任を果たしていくこと」です。学校から課題が渡されましたが、その他に、この機会に自分でも学ぶ方法を探していきましょう。パソコンを利用できる場合は、様々な学習サイトが活用できます。パソコンがなくても、テレビではNHKが学習番組を再放送しています。長い時間を利用して少し厚い本に挑戦したり、以前読んだ本をもう一度読み返したりするのもよいでしょう。

学校の再開を願いつつ、今できることを前向きに、一緒に取り組んでいきましょう。

5月の生活について

休校が続く、家庭で過ごすことが多くなっています。今は「安全」に過ごし、一人一人の命を守ることが最優先です。そのためには、**①手洗いうがいの徹底②マスクの着用③三密を避ける**など、一人一人がしっかりと意識をもって生活することが大切です。児童が笑顔で登校できるまで、ご家庭で健康に気を付けて、安全に過ごしていただけますようご協力をよろしくお願いいたします。

児童とこの機会に「親子 de チャレンジ Let's Go!!」にもチャレンジしてみてください。

三密とは・・・

【密閉】換気を行い、風通しの良い環境を作りましょう。

【密集】大勢で集まらないようにしましょう。

【密接】間近で会話をする場合は距離を確認しましょう。

休校中の学習について

少しでも担任と子供たちとのやりとりができればと考え、今回は1週間分の課題を出します。次の週に課題を取りに来た際に、前の週の課題を返却します。コメントを中心としたやりとりを楽しみにしてくれることを願っています。

また短時間にはなりますが、課題提出日に分からないところの補習も行います。ご家庭で課題に取り組んだ際、分からない点は付箋等で記録をしておいてください。

本の貸し出しもしていきます。詳しくは配信メールをご覧ください。

提出物書類

① 保健調査票

緊急連絡先(お勤めの方は職場の電話番号も)、お子様の健康状態、学校へ伝えておきたいことなどのご記入と、保護者印の押印をお願いいたします。特に、2～6年生で、緊急連絡先(携帯番号、職場の電話番号等)の変更がある場合は、必ず訂正をお願いいたします。

② 結核検診問診票

該当学年の欄に記入をお願いいたします。また、1年生と墨田区外からの転入生、外国からの帰国者は学年に関わらず、質問6のBCG接種の有無を必ずご記入ください。

③ 運動器検診(四肢の状態)・脊柱側弯症スクリーニング票

実際に体を動かして運動器(四肢の状態)を確認し、該当学年の欄にご記入ください。

④ 心臓検診調査票

1年生と心臓検診の対象となる児童に配布しています。あてはまる回答にチェック、または、空欄にご記入ください。

⑤ 緊急用児童カード*

訂正がある場合は、赤字で記入をしてください。町会名はHPにアップしてあります。

⑥ 児童環境調査票

1年生は提出して下さっています。

⑦ 親子 de チャレンジ Let's Go!!

親子でチャレンジできるものをやってみましょう。同じものに何回かチャレンジしてもいいです。26、27は親子で考えてチャレンジできるものを書いてみましょう。